



月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 233 号-①【基準日 2023 年 12 月 29 日】



🌸 社長メッセージ



波乱の時代だからこそ資産運用が大切に

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、新年あけましておめでとうございます。旧年中はご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も皆さまのご期待に添えるように、役職員一同、精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

まずは元日に発生しました令和6年能登半島地震により被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧をお祈り申し上げます。弊社といたしましては、災害救助法適用市町村に居住されているお客さまに対し、可能な限りの便宜を図り柔軟に対応させていただきます。被災されたお客さまの生活復興支援に向けて、微力ながら尽力いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は、欧米の中央銀行におけるインフレ抑制のための利上げ・金融引き締めの影響による景気後退リスクや長引くウクライナ情勢等による地政学リスクの高まりが懸念されておりましたが、生成AI関連ブームや早期利上げ期待から世界の株式市場は後半に大きく上昇いたしました。また、国内でも春先にコロナ禍が収束し社会経済活動が正常化されて日用品を中心とした物価上昇が家計を直撃する中、日経平均株価はバブル後最高値を更新して3万3000円台を回復いたしました。そのような中で皆さまのありがとうファンドは国際分散投資を継続して、世界株式市場の上昇の恩恵を受けて、年間で+29%上昇して一年を終えることができました。



今年の世界経済は、引き続き世界的なインフレと景気動向、米国の金融政策に左右される相場展開が予想される中、高金利や景気後退リスクから企業業績や財務体質などクオリティの高さが問われる相場になると考えられます。

また、米国大統領選挙など各国の選挙によるイベントリスク、長期化するウクライナ情勢やイスラエル・ガザ紛争、米中対立などの地政学リスク、地震や異常気象による自然災害リスクによって市場の不確実性が増して、上下にボラティリティの高いマーケットになると思われます。米国を中心とした西側各国の米国側と中国ロシアを中心とする非米国側やインドなどのグローバルサウスに世界が分断されつつある中、グローバリゼーションで安い労働力の恩恵を受けていた国や企業にとっては、サプライチェーンを見直すことによるコスト増加は避けられないと思われます。今後、分断がより進んで世界が米国一極覇権から多極化になり、脱ドル化が進んでいけば、国・地域ごとの違いが大きくなり、現在よりも各マーケットの相関性は低下していくものと考えられます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

一方、日本国内においては、日銀の金融緩和政策の変更が行われ、マイナス金利が解除されて利上げが行われるのかどうか、今後の消費者物価の推移と賃上げ水準に注目が集まっていますが、今回の大震災の影響によって利上げに慎重な意見が出てくるなど先行きは不透明になってきました。

そのような中で、ありがとうファンドは今後も国際分散投資を継続するとともに、イベントリスクや地政学リスク等に備えて、利下げ局面やリスクが増加してボラティリティが高まる局面で上昇が期待される金(ゴールド)へ分散投資することでファンドのドローダウンを抑制してお客様の資産をしっかりと守りながら長期投資で増やしていきたいと考えております。

波乱の時代だからこそ資産運用が大切に

今年は、元日新年早々の能登半島地震による大震災に続いて、2日の羽田空港での航空機衝突事故で始まる波乱の年明けとなりました。そして、今年は選挙イヤーで米国大統領選挙を始めとして各国で重要な選挙が行われる予定です。一番の注目は11月の米国大統領選挙で共和党のトランプ前大統領が再選して返り咲くのかどうかで、米国内だけでなく地政学や世界経済、金融政策、マーケットまで大きな影響があるでしょう。



このような予測が難しい先行き不透明な波乱の時代だからこそ私達にとっては、今まで以上に資産運用が大切になってくると考えます。今年から新NISA制度もスタートして、今まで預貯金しかしてこなかった人たちにも資産運用を始めやすい環境が整ってきています。

インフレや地政学リスクの高まりなどから自分達の資産を守っていくためには分散投資で資産運用していく必要があるでしょう。また、短期的な価格変動リスクに対しては時間軸を長期で捉えることが大切です。5年、10年、20年単位で投資継続していく心構えが資産運用の目的・目標を達成する上で重要になってきます。

今年から資産運用を始められる方も、既に資産運用をされている方も、新しい年の年初に初心を大切に是非資産運用を継続して頂ければと思います。「継続は力なり」というように、資産運用で大切なことであり、最も難しいことは、長期で継続することです。

マーケットの過去の実績を振り返れば、長期で継続すれば良かったことは誰にでも理解できますが、先行き不透明な将来に向かって1年、3年、5年、10年、15年、20年と投資をずっと継続して実践できる人はそれほど多くありません。マーケットが大きく調整すれば怖くなって投資を止めてしまったり、逆に大きく上昇すれば途中で利益確定してしまったり、資産運用をずっと継続することは、私達がロボットではなく感情のある人間なので行動経済学から考えても簡単なことではありません。

弊社は今年創立20周年の節目の年を迎えますが、これからもお客様の資産運用を一生サポーターとしてさせていただきます。お客様が資産運用を継続していけるように、良い時も悪い時も上り坂も下り坂も一緒に伴走していきたいと考えておりますので、本年もありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	27,763円	+10.1%
3年	26,538円	+15.2%
5年	22,711円	+34.6%
10年	18,687円	+63.6%
初回(2004年10月)から	12,915円	+136.7%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	13万2127円
3年	36万円	41万4677円
5年	60万円	80万7616円
10年	120万円	196万3023円
初回(2004年10月)から	231万円	546万7456円

2023年12月29日現在(基準価額:30,569円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
2024年新春企画セミナー 『今年の世界経済見通し/新投資先ファンド紹介』	1月21日 (日)	東京	10:00～ 12:00	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
2024年新春企画セミナー 『今年の世界経済見通し/新投資先ファンド紹介』	1月28日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
2024年新春企画セミナー 『今年の世界経済見通し/新投資先ファンド紹介』	2月4日 (日)	仙台	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
2024年新春企画セミナー 『今年の世界経済見通し/新投資先ファンド紹介』	2月11日 (日)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
2024年新春企画セミナー 『今年の世界経済見通し/新投資先ファンド紹介』	2月12日 (月)	名古屋	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
2024年新春企画セミナー 『今年の世界経済見通し/新投資先ファンド紹介』	2月25日 (日)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

特定口座年間取引報告書交付のお知らせ

特定口座にて 2023 年に『ありがとうファンド』を換金されているお客さまには、「令和 5 年分 特定口座年間取引報告書」を郵送および電子交付させていただきました。

「特定口座年間取引報告書」は、昨年中に特定口座内で換金された『ありがとうファンド』の譲渡の対価の額(収入額)、取得費および譲渡に要した費用の額などを記載しており、該当する年間の譲渡損益等を集計した報告書です。

尚、電子交付サービスに同意されているお客さまの場合、「**特定口座年間取引報告書**」は**マイページ上でのご確認となり、郵送されません**。

尚、次のお客さまは、同報告書が作成されませんので予めご了承ください。

- ・2023 年に換金をされていないお客さま
- ・一般口座で換金をされたお客さま

特定口座年間取引報告書の交付方法一覧

電子交付の同意	交付方法
あり	電子交付 (マイページ上での確認)
なし	郵送

今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助になれば幸いです。



確定申告で節税したつもりが 負担増になってしまうかも

「株や投資信託で損失がでた場合、損益通算や損失繰越をすれば節税になる」と確定申告をした結果、配偶者控除や扶養控除の適用から外れてしまったり、社会保険料の負担が上がってしまったりと、結果として負担が増えてしまい、家族全体の手取りが減少する可能性があります。確定申告時期も近づいてきたので、今回は税金と社会保険料の関係性についてお伝えします。

配偶者控除、扶養控除が受けられなくなる可能性がある

例えば専業主婦(夫)の年間の合計所得金額が48万円以下であれば、基本的には配偶者である夫(妻)の扶養に入り、確定申告または年末調整の際に夫(妻)は配偶者控除が受けられます。専業主婦(夫)が株や投資信託の取引で48万円超の利益を得ても、源泉徴収ありの特定口座であればその中で課税関係が終了するので、配偶者控除には影響しません。

しかし、専業主婦(夫)が損益通算や損失繰越のために確定申告をすることで、申告した売却益や配当が所得としてカウントされてしまいます。その結果、年間の合計所得金額が48万円を超えてしまうと、配偶者控除や扶養控除が適用できなくなり、夫(妻)の税負担が増えてしまいます。申告が必要かどうかはご家族単位で考え、検討することが重要です。

なお、配偶者を例にしましたが、扶養に入っている両親や子供の場合も考え方は同じです。

国民健康保険、介護保険料が上がる可能性がある

国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料は本人の所得をもとに計算します。損益通算や損失繰越のために確定申告をすると所得が増えてしまい、保険料の負担が増加してしまったり、病院での窓口負担が3割になってしまったりと思わぬところで負担が発生し結果的に損をしてしまう可能性があります。どのような場合に社会保険料に影響が出てしまうのか解説していきます。

【社会保険料に影響が無い人】

○会社員や公務員などで健康保険(協会けんぽや組合けんぽ)加入者
健康保険加入者の保険料は本人の「月給+賞与」を基準に決定するので、給与所得者自身が売却益や配当等を確定申告しても、本人の健康保険料には影響しません。また、原則として本人の医療費の窓口負担割合にも影響しません。窓口負担割合は3割です。



○特定口座(源泉徴収あり)で確定申告をしない人

上記の人以外でも現在の税制度では、「特定口座(源泉徴収あり)」で確定申告をしない場合、売却益や配当等は所得金額に算入されず、社会保険料には影響されません。また、病院の窓口などで支払う医療費の自己負担割合にも影響しません。

【社会保険料が上がってしまう可能性のある人】

●専業主婦(夫)やパート勤務などで扶養範囲内の収入の人

現在の健康保険の扶養者加入の条件では、株式などの売却益や配当金等は「一時的な収入」として判断されますので、社会保険料に影響はありません。しかし、扶養の判定基準である「継続的、恒常的な収入」に株式の譲渡収入等が含まれるかについては明確な規定はなく、また、加入の健康保険が「協会けんぽ(主に中小企業)」か「組合健保(主に大企業)」かによって違いがあります。確実なのは、配偶者が加入している組合健保に確認されるのがよいでしょう。

●国民健康保険の加入者(自営業、フリーランス、年金受給者など)

国民健康保険加入者の方の保険料は、主として前年の総所得金額(10種類に分けられた所得の合計額)によって算出されます。売却益や配当金等を確定申告した場合「配当所得」と「譲渡所得」に該当するので、総所得金額が増えてしまい、翌年の国民健康保険料も増加します。

なお、国民健康保険には扶養者、被扶養者という考え方はなく、世帯の人数や世帯全員の所得などで世帯ごとの保険料が決まるため、確定申告をした人がいると世帯の保険料が増加します。

また、病院の窓口などで支払う医療費の自己負担額は70歳未満の人は3割です。70歳以上75歳未満の人の窓口負担割合は、2割または1割ですが、売却益や配当等を確定申告することで所得が一定金額を超えた場合は、病院の窓口などで支払う医療費の自己負担の割合が3割になる可能性があります。

●後期高齢者医療保険の加入者(75歳以上又は一定の障害がある65歳以上の人)

後期高齢者医療保険の加入者の方も、上記の国保加入者の方と同じで、売却益や配当等を確定申告所得することで所得が一定金額を超えた場合は、健康保険料が増加します。

また病院の窓口などで支払う医療費の自己負担割合は原則1割ですが、一定の収入を超えると2割または3割の負担割合になってしまいます。



税金の還付ばかりを意識するのではなく、確定申告した結果、社会保険にどのような影響を与えるのか確認したうえで、申告するか判断する必要があります。非課税制度の「新NISA」の利用や「特定口座(源泉徴収あり)」を選択し、確定申告をしなれば、扶養や社会保険料に影響はないでしょう。確定申告の時期に各地で開催される無料相談会を利用するなど専門家にご相談することをお勧めします。



ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

「いい会社」はどこにある？
——自分だけの「最高の職場」が見つかる9つの視点
単行本（ソフトカバー） - 2022/11/30 渡邊 正裕（著）

「いい会社」を探して見つけたいと思うのは、就活中の学生や転職を考えている社会人ばかりだけでなく投資家も同様ですが、簡単に見つかるものではありません。世間一般的に有名企業、大企業として人気が高い会社が、自分にとって「いい会社」とは限りませんし、投資家目線で投資先としての「いい会社」が、自分自身が働く職場としても最適であるかは人それぞれです。

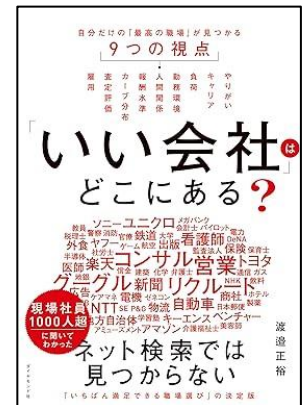
今月ご紹介するおすすめの本は、独立系ニュースサイト「MyNewsJapan」編集長が現場社員1000人超からの取材をもとにまとめた本です。

著者は、「万人にとっていい会社」など存在しない——。だからこそ、本当に「いい会社」に出会うために必要なのは、自分なりの優先順位をつける「座標軸」を見つけることである。これさえあれば、自分だけの「最高の職場」は、誰でも探し当てられる——。と述べています。

本書では、会社を分析して見ていく9つの視点、12の条件、そして37の基準について、わかりやすく図解したポジションングマップとともに紹介されていて、現時点での相場と自分が現在所属している組織の客観的な位置づけが確認できます。取材に基づいた現場社員の声はリアリティがあり、企業の公開情報だけではわからない、会社に入ってみないとわからないようなことまで紹介されています。

自分のキャリアを真剣に考えている人だけでなく、投資家の方にとっても投資先企業の人的資本の評価分析や未来の成長企業発掘の参考になるかもしれませんのでご興味があれば是非読んで頂ければと思います。

本書は総ページ数 p845 の辞書のような厚みのある本ですが、一読する価値がある本だと思います。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落日口座変更】	【定期の引落日金額を変更】 【定期引落日を中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2024年 1月分	12月5日(火)	12月22日(金)	1月9日(火)	1月17日(水)	1月19日(金)
2024年 2月分	1月4日(木)	1月25日(木)	2月6日(火)	2月15日(木)	2月19日(月)
2024年 3月分	2月5日(月)	2月22日(木)	3月6日(水)	3月14日(木)	3月18日(月)
2024年 4月分	3月5日(火)	3月27日(水)	4月8日(月)	4月16日(火)	4月18日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

1月15日(月)	キング牧師記念日	ニューヨーク	2月5日(月)	聖プリジッドの日	アイルランド
2月19日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク			

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.40% ± 0.3% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

<免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



ありがとう投信

財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

今年の世界経済見通し 新投資先ファンド紹介

2024年新春セミナーを1月より全国で開催いたします！

2024年新春企画セミナーとして、今年の世界経済見通しとありがとうファンドの新たな投資先ファンドとなったアリアンツ・グローバル・インベスターズの米国大型バリュー株ファンドの運用哲学や特長、魅力について詳しくご説明させていただきます。

是非この機会にご参加頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております！

東京

2024年1月21日（日）10:00～12:00

ありがとう投信本社3F

福岡

2024年1月28日（日）13:30～15:30

アクロス福岡 604

仙台

2024年2月4日（日）13:30～15:30

仙都会館 7F-C

大阪

2024年2月11日（日）13:30～15:30

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室 2

名古屋

2024年2月12日（月）13:30～15:30

ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 会議室 1206

札幌

2024年2月25日（日）13:30～15:30

かでる2. 7(北海道立道民活動振興センター)510 会議室



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL: <https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>

フリーコール: 0800-888-3900

